

(社) 宮城県建築士会大崎支部 平成 23 年度 通常総会 議事録

日 時 平成 23 年 5 月 14 日 (土) 16 : 00 ~

場 所 グランド平成

作成者 佐々木 幸正

司会進行 猪股常任理事

1. 開会宣言 齊藤副支部長

(猪股常任理事より出席会員数 29 名+委任状 48 名分= 78 名 正会員数 175 名の 1/3= 59 名以上で総会成立の報告があり。)

2. 物故者に黙祷

3. 支部長挨拶 青木支部長

1. 今回の震災について(会員の仕事状況含む)
2. 支部事業(セミナー等)について
3. 県本部事業について
4. 公益法人化について
5. 苦しい会計状況についてなど
6. 来賓者に対する御礼

4. 来賓祝辞

- ・ 社団法人宮城県建築士会会長 砂金 隆夫 様
- ・ 大崎市長 伊藤 康志 様
- ・ 色麻町長よりの祝電披露

5. 議長選任 宮澤 忠一 氏 を推薦承認される。

議事録作成人 佐々木筆頭副支部長 を指名

議事録署名人 千葉 裕一 氏 と 高橋 和宏 氏 を指名

6. 議 事

第一号議案 平成 22 年度事業報告並びに収支決算承認の件 (会費未納調書)

事業報告は池田副支部長・収支決算は鬼沢副支部長より説明があり、跡部監事より監査報告があった。

質問 セミナー委員会と地域貢献委員会の事業費支出が予算よりも増えているのは、

どうしてか。また、応急危険度判定はボランティアで行っているのではないのか。

回答 セミナー委員会は事業費収入も増えているので、合計すると増減は少しである。

地域貢献委員会の応急危険度判定は、岩手・宮城内陸地震のときは7,000円/1人工を支払いしたので、今回は予算の関係でとりあえず3,000円/1人工を支払いした。県や東北ブロックよりの助成がくれば追加して払う予定である。また、住宅相談等についても同様に支払った。

要望 県や東北ブロックから助成金がでたら、支部活動費としての利用も検討をお願いしたい。

補足説明 砂金会長より応急危険度判定派遣の助成として連合会より7,500円/1人工が確定していることが報告された。

その後、全会一致で承認された。

第二号議案 欠損処分について

猪股常任理事より説明があり、質問等はなく承認された。

第三号議案 平成23年度事業計画(案)・収支予算(案)に関する件

事業計画案について青木支部長と各委員長より・収支予算案については鬼沢副支部長より説明があり、質問等はなく承認された。

7. 議長解任

8. 閉会宣言 菊森副支部長

議事録署名人

千葉裕一



印